

日本財務翻訳のご案内



ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS
GROUP

上場企業の情報開示文書の英訳に特化した日本財務翻訳株式会社は、すべての上場企業が当たり前のように英文で情報開示を行うことができる市場の実現を目指しています。英訳のスキルだけでなく、財務・会計・IRの知識とノウハウを活かした制作体制を強みとし、早く、正しく、効率よく、そしてお客様の負担を増すことなく、開示文書の英文化を支援したいと考えています。

プロネクサスグループの日本財務翻訳は、ワンストップソリューションでの英文開示支援サービスをご提供いたします。

私たちの特長

財翻は、ディスクロージャーの頼れるパートナー。

社長からのご挨拶

上場企業の英語での情報開示をお手伝いします

日本財務翻訳株式会社は2006年12月の設立以来、企業が発信する情報の英語への翻訳業務を中心に事業を展開してまいりました。決算短信や招集通知などの法定開示文書の正確な英訳から英文財務諸表作成のように専門的な知見が必要とされる業務、さらにはIRや法務関連の文書、他言語での対応まで、お客様のご要望に合わせて事業分野も拡大してきました。

コミュニケーションを大切にしています

当社では、翻訳能力だけでなく、分析力、調査力、お客様のニーズを引き出すコミュニケーション能力も重視しています。業務開始前にできるだけお客様を訪問し、個別のヒアリングを行ったうえでお客様ごとの開示状況を調査してから作業を開始するなど、個々のお客様のニーズに合った英文のご提供に努めています。

また、業務の性質上、お客様から開示前の機密データをお預かりしますので、データの受け渡し、保管・管理には厳しいルールを適用し、細心の注意を払っています。

常にお客様の満足を第一に考えています

上場企業における外国人投資家の持ち株比率が高まるにつれ、開示情報をタイムリーに訳して開示したいというお客様からのニーズも急速に高まっています。当社では、ご担当者様の手を煩わせることなく、いかに早く、正しく、効率よく英文化するかに日夜取り組み、お客様満足の最大化に努めています。



松本 智子

代表取締役社長

組織で支える専門性

当社では、各開示書類の背景にある法令を理解したうえで、英訳を提案しています。また、財務関連の文書では、会計の専門知識を有するスタッフが作業にあたります。

当社はプロネクサスグループの一員として、法定・財務関連文書の翻訳に特化したノウハウと豊富な経験を有しており、その高い専門性を最大の強みとしています。

プロのネットワークを活用した
専門家による作業

3つの総合力

専門的な内容理解を背景
としたきめ細かな対応

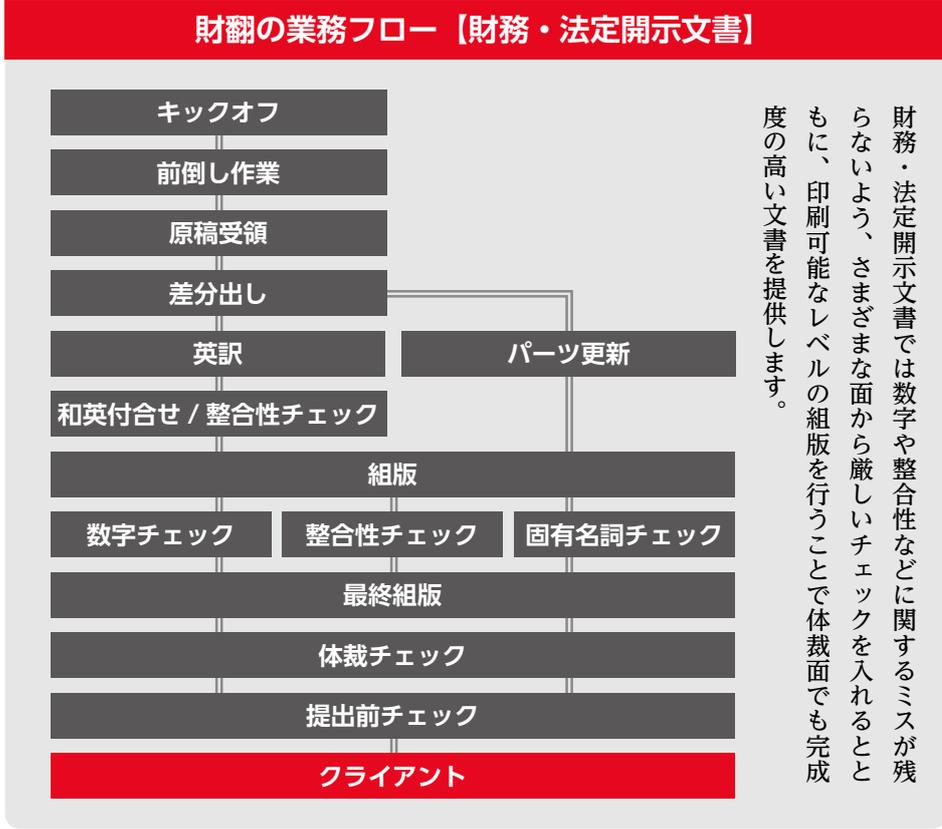
豊富な経験と実例の蓄積に
基づく文書作成ノウハウ

高セキュリティ環境

日本で一番多く英文招集通知の作成を支援している日本財務翻訳は、日々開示前のインサイダー情報を取扱っています。そのため、情報漏洩を防止するためのシステムを構築し、通信ネットワークや独自運用している本番サーバ内でのワンファイル作業管理、情報接触ログ管理、さらには天変地異・火災などの物理的なセキュリティ対策にも万全を期しています。制作物の品質だけでなく情報の機密性も担保できる、総合的な品質保持体制も、私たちの強みです。

お客様のニーズに絶対の信頼でお応えします。

品質を重視した制作体制



正確性の追求

専門用語

文書の内容に合わせた的確な用語、表現を用いた文書作成を行います。

整合性 (文書内・文書間)

文書内の整合性に加え、ご指示に従ってお客様のウェブサイトや他の開示文書との整合性も確認します。

英文 DTP

企業の公式な開示文書として、正しい英文スタイルで作成します。

専任担当者制

事前打ち合わせ

翻訳作業開始前に英訳範囲、スケジュール、仕様に関するご要望を細かく確認し、納品まで一貫してサポートいたします。

組織力でサポート

専任担当者を窓口複数のスタッフが連携しながら作業を行い、内容の修正、日程の変更などにも迅速に対応いたします。

きめ細かい対応

原稿提出時には適宜コメントをつけ、ご確認いただきたい点や申し送り事項などをわかりやすくお伝えします。

財翻研究部・専門家とのネットワーク

英文開示書類の作成実務だけではなく、会計基準 (日本基準・IFRS など) や会社法・金商法にも精通した研究要員が翻訳業務支援とスタッフの教育を行っています。また、株式会社プロネクサスのディスクロージャー相談各部をはじめ、提携先の法律事務所や会計事務所と緊密なネットワークを築いていることにより、専門家のチェックに裏付けされた商品提供ができることも当社の強みです。

財翻の商品ラインアップ

決算短信翻訳（四半期／期末）

【作成目的】 適時開示＝ウェブサイトへの掲載／TDnetへの提出
決算短信は、業績をいち早く伝えるための重要な開示ツールです。発表前のインサイダー情報をお預かりすることになりますので、社内に厳重な秘密保持体制を構築しています。

決算説明会資料翻訳

【作成目的】 海外ロードショーでの説明資料、ウェブサイトへの掲載
株主や投資家向けにパワーポイントで作成される説明会用の資料は、外国人投資家からの注目度も高く、ウェブサイトへ掲載する企業が増えています。部分訳から全訳、DTP作業まで、さまざまなご要望にお応えいたします。

株主総会招集通知の翻訳

【作成目的】 ウェブサイトへの掲載、
議決権電子行使プラットフォームへの登録
財翻では、関係する法律や会社の定款についての知識を持ったうえで、内容や背景を正しく理解して完成度の高い文書作成を行います。

有価証券報告書の翻訳

【作成目的】 アニュアルレポートへの組み込み、
海外子会社の管轄当局への提出、資金調達先への提出
海外での起債、買収事案の際には急速有価証券報告書の英訳が必要になる場合があります。100ページを超える文書の英訳でも、蓄積したノウハウを活用し、スピーディに安定した品質で対応することができます。

IFRSによる開示文書の翻訳

【作成目的】 ウェブサイトへの掲載、アニュアルレポートへの組み込み
IFRSでの開示文書の英訳では、日本基準や米国基準とは用語や表現、概念が異なるところがあるため、専門知識を有するスタッフが対応いたします。また、IFRSの最新情報を常にプロネクサスのディスクロージャー相談各部と共有しています。

経理規程・会計マニュアルの翻訳

【作成目的】 海外子会社への配布
IFRSへの移行を進める中で、経理規程や会計マニュアルを見直し、英訳版も整備して海外の子会社に配布するケースが増えています。

AR／統合報告書・英文財務諸表の作成

【作成目的】 海外投資家への配布、資金調達先への提出
IRツールとしてのアニュアルレポート（AR）／統合報告書や、監査対象となる英文財務諸表の作成も行います。
財翻独自の簡易型のアニュアルレポート（Annual Select[®]）はページ数やコンテンツ選択の自由度が高く、手軽にご導入いただけます。

定款・社内規程類の翻訳

【作成目的】 海外での入札や新規取引開始時に提出
英文の定款があれば、急に必要になった時にも迅速に対応できます。株主総会招集通知の英文版を作成する場合にも、定款変更の議案への対応がスムーズに進みます。

契約書・社内文書の翻訳

販売契約をはじめ、ライセンス契約、株式移転契約、利用規約など、さまざまな契約書の翻訳に対応いたします。
また取締役会議事録等の機密性の高い社内文書の翻訳についても、細心の注意を払って対応いたします。

多言語への翻訳

日本語から英語、中国語（簡体字／繁体字）、韓国語、タイ語、ベトナム語、ミャンマー語など、ご要望に応じて多言語への翻訳も承ります。

会社概要

商号	日本財務翻訳株式会社（英語名 ZAIHON, INC.）		
代表者	代表取締役社長 松本 智子		
資本金	8,000万円		
設立	2006年12月20日		
株主	株式会社プロネクサス 100%		
役員	代表取締役会長	上野 守生	
	代表取締役社長	松本 智子	
	取締役	上野 剛史	
		大和田 雅博	
		佐藤 信寿	
		杉原 信好	
		藤澤 賢二	
	監査役	佐瀬 あかね	
住所	〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-16 住友浜松町ビル2F TEL : (03) 5408-9515 FAX : (03) 5408-9701 http://www.zaihon.co.jp		